

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) ㈱ダイセル チェーンプロダクションカンパニー 姫路製造所網干工場

1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

[網干工場 環境方針]

網干工場は、協力会社を含む全ての従業員が各人の役割と責任を熟知して、環境保護に
取り組み、CAPDサイクルによる継続的改善により、環境保護に努めるために以下の基
本方針を策定する。

1. 当工場が管理可能な事業活動（開発から廃棄に至るまで）の環境側面に関連して適用
可能な法規制、及び当工場が同意したその他の要求事項を順守します
2. 環境目標を年度毎に設定し、状況の変化による見直しを実施することで、環境改善を
推進し、環境にやさしい工場を目指します
3. 省エネルギー、省資源及び廃棄物の削減・リサイクルを行い、徹底的にスリム化を行
うことで、環境負荷減を行い、GHGの削減に繋げ環境負荷減を行います
4. 化学物質の適正管理と排出削減を行うことによって、環境汚染の予防と改善を行いま
す
5. 生産設備の新設・変更時にはアセスメントを実施することによってより適切な対策を
実施し、安定運転、安全確保を行います
6. 緊急時の対応方法の有効性を確認するとともに、万一の事故に対する的確な措置のた
めの訓練を実施します

上記の取り組み内容を規定文書化し、当工場のために働く全ての人に周知することによ
り、環境保護の向上に努める。又、必要があれば本方針を公開する。

適用範囲：

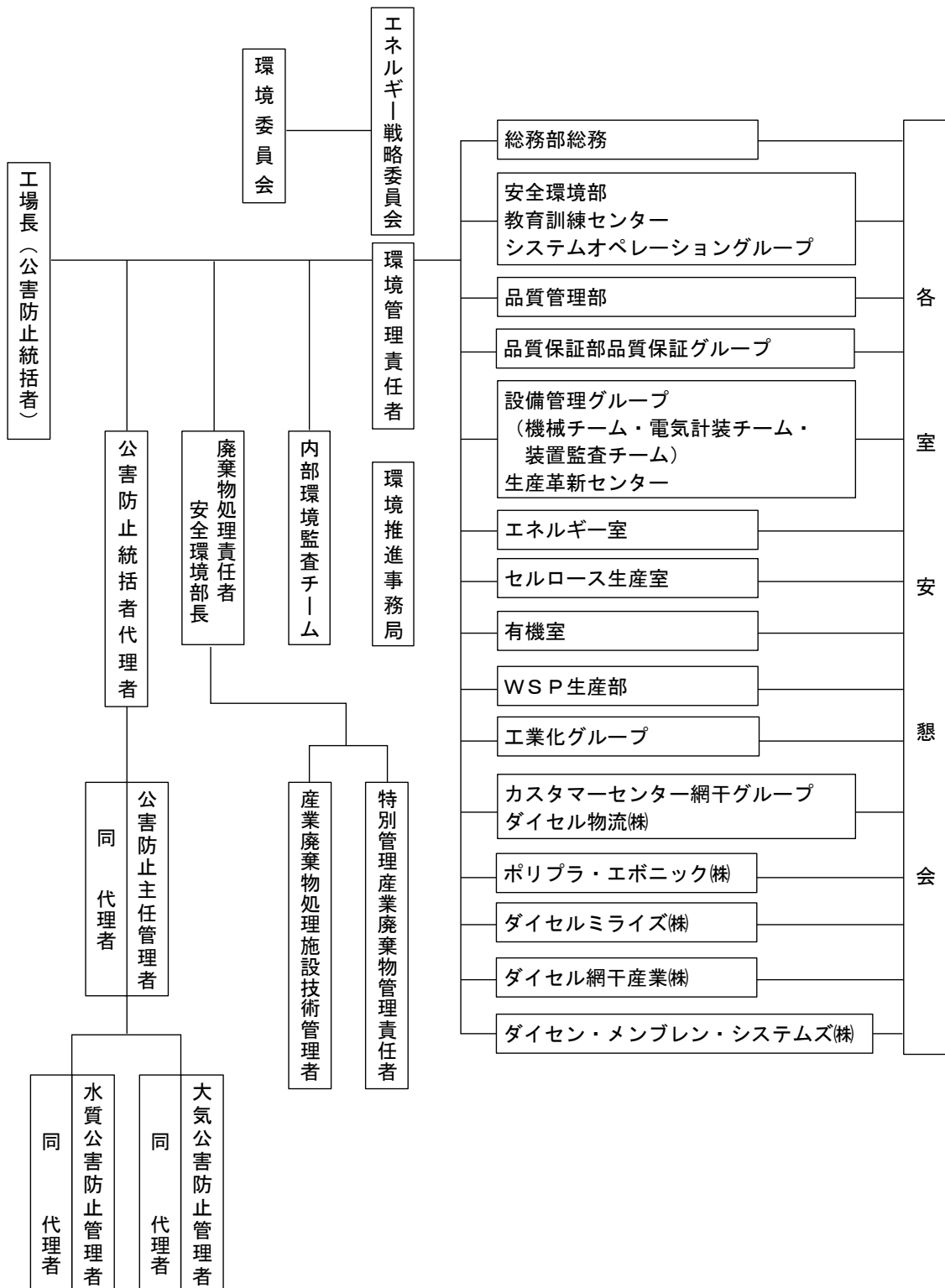
網干工場がライフサイクル（原材料の取得又は天然資源の産出から、最終処分までを含
む、連続的かつ相互に関連する製品又はサービスの段階群）の視点を考慮して、管理す
ることができる環境側面（大気汚染、水質汚濁、廃棄物、悪臭・騒音・振動、土壌・地下
水汚染、資源の枯渇、地球環境への影響）、又は影響を及ぼすことが出来ると決定した活動
（製品輸送、製品開発、配送・構内物流、物品購入、顧客・外部対応、トラブル低減活動、
外部の環境活動、サービス）、その他部門で影響が生じると思われる事項に適用する。

2022年4月1日

株式会社ダイセル

網干工場長

中島 英彦



2 環境保全活動の実施状況等

項目	取組結果		今後の取組計画
エネルギー対策 (地球温暖化防止対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・対前年比で、エネルギー使用量を削減した ・CO₂削減の取組みを実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラント運転条件改善による省蒸気、省電力を達成した ・原油換算 4,942kl ・CO₂削減 10,477t 	<ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー取組みアイテムを探索、実施することによりエネルギー使用量を削減する ・省エネ：原油換算 4,277kl ・CO₂削減：14,458t
省資源・廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> ・対前年比で、原料使用量、廃棄物を削減した 	<ul style="list-style-type: none"> ・原料、廃液などの削減を実施した ・省資源：118t 	<ul style="list-style-type: none"> ・原料などの使用量を削減する ・省資源：179t
グリーン購入	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入の継続的に実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・モデルベンダーの納入実績を把握し、グリーン購入を継続に実施した 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入を継続する
化学物質対策	<ul style="list-style-type: none"> ・P R T R 対象物質のロス低減に取り組んだ 	<ul style="list-style-type: none"> ・P R T R 対象物質の管理を行い、ロスを低減した 	<ul style="list-style-type: none"> ・P R T R 対象物質の管理を行い、ロスを低減する
環境マネジメントシステム	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムを継続した 	<ul style="list-style-type: none"> ・ISO14001 更新審査受審 (10/18~20) ・全部門の内部監査を実施し、発見された改善点については改善を進めた (8月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステムを継続実施する (定期審査：10月予定) ・内部監査実施予定 (8月)
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員への環境意識向上のための教育実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・法改正情報、法定管理者の任務、省エネルギーの動向などのテーマで、従業員への環境教育を実施 (1/19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・従業員への環境意識向上のための教育を実施する (1月)
地域社会活動への参加	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や行政が行う環境保全活動に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政主催行事 (環境保全管理者協会等 (リモート)) に積極的に参加した 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や行政が行う環境保全活動に積極的に参加する
環境コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・環境情報の公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・工場版サイトレポートを全社版の報告書に記載 (6月発行) した ・近隣自治会の会議、行事等に参加し、相互理解を深めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境情報の公開に努める